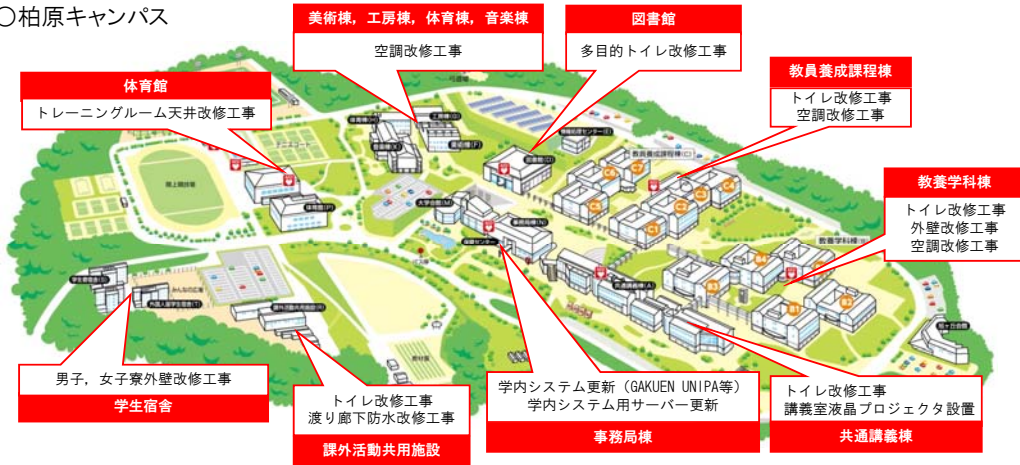


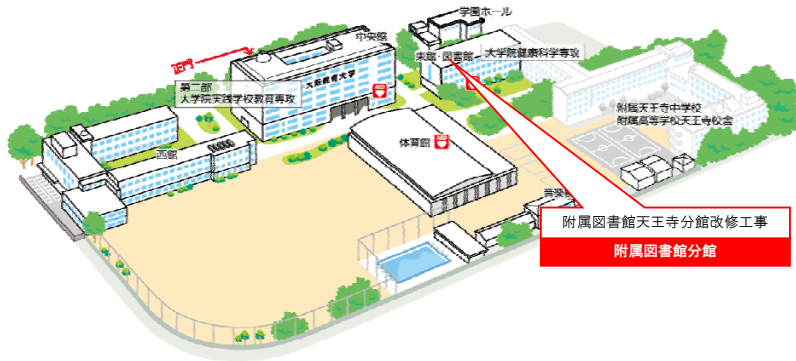
## Q. どんな環境整備やってんの？

学生の教育活動等を支援するため、平成27事業年度においては、以下のような施設・設備の整備を行いました。

### ○柏原キャンパス



### ○天王寺キャンパス



#### 施設整備(柏原)

点字ブロック撤去復旧工事  
駅前交差点防犯カメラ用電源工事

#### 附属学校園

プール改修工事(天王寺小, 平野中高)  
附属学校体育館改修工事(天王寺中高, 平野小中高)  
附属幼稚園給水設備改修工事  
天王寺中高空調機取替工事

#### その他大学施設

山本宿舎改修工事  
遠見山の家営繕, 内装改修工事



**大阪教育大学**  
OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

財務リーフレット2016 こうなってまっせ大教大  
対象:平成27事業年度(2015年4月1日~2016年3月31日)  
発行:総務部財務課  
e-mail: syukeika@bur.osaka-kyoiku.ac.jp

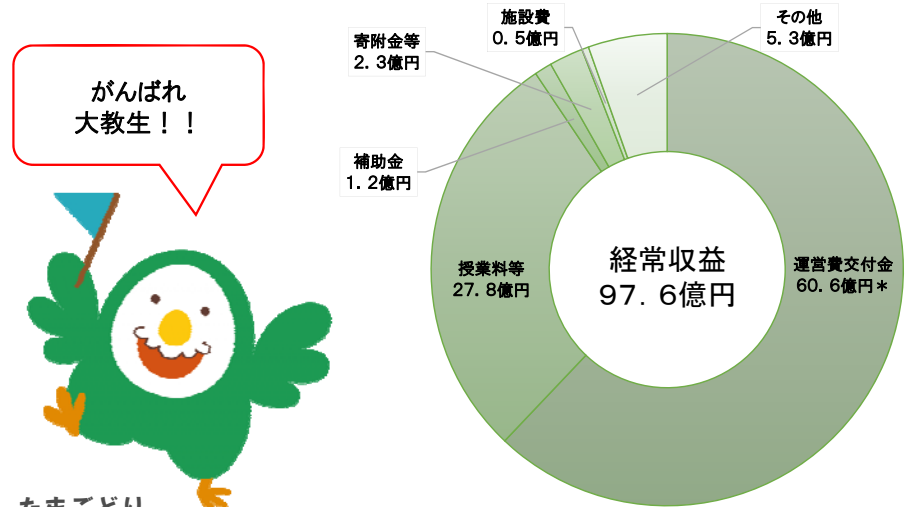
詳細な財務情報については以下のウェブページをご覧ください。  
《大阪教育大学財務情報ウェブページ》  
<http://osaka-kyoiku.ac.jp/university/zaimu/zaimujoho/>

## 大阪教育大学財務リーフレット2016

# こうなってまっせ大教大

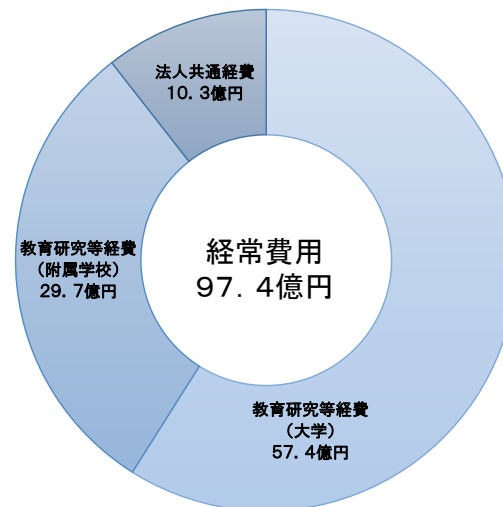
## Q. 大阪教育大学の収益・費用はなんぼ？

平成27事業年度においては運営費交付金\*及び授業料等の収益が97億円あり、それらの収益は本学の教育・研究・社会貢献等さまざまな活動において有効に活用しています。



たまごどり

\*大学の業務運営のため国から交付されるものであり、国民の税金によって賄われています。



約100億円か  
なるほど~



「やまお」「たまごどり」は、大阪教育大学の公式キャラクターです。

## Q. 学生一人あたりの教育経費はなんぼ？

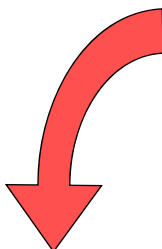
平均で  
年間110万円  
越えているんだあ〜。



〔教育経費の内容〕

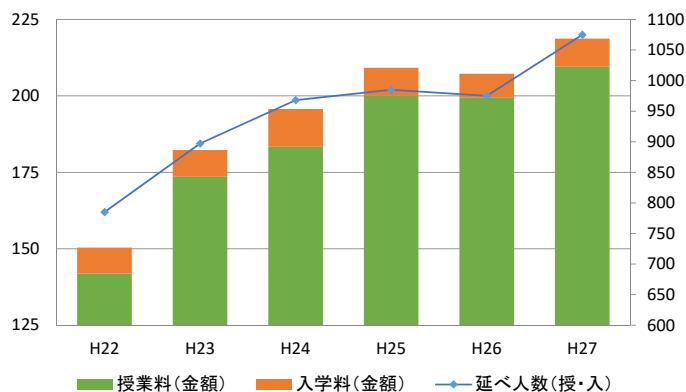
教育経費	51億9,445万円
学生数 (学部・大学院・専攻科)	4,671人
学生一人あたり	111万2,070円

内容	金額
パソコン、講義室設備費など	2億5,645万円
教務システムの開発費、構内緑地保全費、キャンパスの清掃費など	1億4,230万円
講義室等の電気・ガス代など	8,458万円
教職員給与など	41億2,221万円
入学金・授業料免除費など	2億1,871万円
その他	3億7,022万円
計	51億9,445万円



### ●入学金・授業料免除実績

学生支援の取組として、入学金・授業料について様々な免除制度を設けています。平成27年度は全額免除・半額免除を合わせて、入学金で42人・916万円、授業料で約1,033人・約2.1億円の免除を行いました。



平成27年度は  
約2.2億円  
免除しました！

## Q. どんな取組やってんの？

### ○府立高校教職コンソーシアム連携交流事業を実施

2015年1月、大阪教育大学は「府立高校教職コンソーシアム」との連携交流をスタートさせました。教師という仕事の魅力を伝え、次代を担うすぐれた教師の育成につなげることを目的に、加盟する大阪府立高校の生徒及び教員を対象に連携事業を行っています。現在は、37の大阪府立高校が加盟しており、下記のような活動を行っています。



#### 教師塾「教師の学び舎」

若手教員に対し、連合教職大学院と同等の講義を提供します。1クール全3回で、現場経験をもつ実務家教員による講話などもあり、実践力の向上や得意分野の開拓をめざします。

#### 出前授業「大教大レッスン」

大学教員が高校に向向き、大阪教育大学ならではの特別授業を行います。講義を聞くだけでなく、生徒が主体的に参加する「アクティブ・ラーニング」手法の授業を実施しています。

#### 高校生育成プログラム「教師にまっすぐ」

教師になりたいという夢や志を持つ高校生を対象とした育成プログラム「教師にまっすぐ」を開催しています。大学生・大学院生も運営に参加し、高校生の夢をたしかなものにできるようなプログラムを提供しています。

### ○小学生向けイングリッシュキャンプを開催



遊びを通して生きた英語を学ぶことを目的に、小学生3、4年生を対象としたイングリッシュ・デイキャンプを開催し、約70人の児童が英語の世界を体感しました。イングリッシュキャンプは、本学が主担する「教職基礎体力を備え国際感覚に優れた教員の養成充実に向けた改革プロジェクト」により、北海道教育大学、東京学芸大学及び愛知教育大学との連携事業として、地元柏原市教育委員会の協力を得て開催され、4大学から集まった学生24人が、スタッフとして企画の立案と運営の実施にあたり、子どもたちの活動をサポートしました。

### ○子育て支援事業者を認定する「くるみんマーク」を取得

本学では、平成22年4月から平成27年3月までの5年間、子育て支援環境を整備する期間として様々な行動計画を策定し、妊娠中および出産後の教職員が健康管理などについて相談できる窓口を設置したり、出産・育児に関する休暇をはじめとする仕事と子育て両立支援のための各種制度をウェブページで周知し利用を呼びかけるなど、男女共同参画と子育て支援を推進してきましたが、これらの取り組みにより、大阪労働局から次世代育成支援対策推進法に基づく基準適合一般事業主に認定され、「子育てサポート企業」として次世代認定マーク「くるみん」を取得しました。



社会ニーズにあった様々な教育研究活動や事業を展開しています。その一例を紹介します。

